

令和4年度 入退院支援連携強化研修会(ガイド編)

アンケート集計結果 (ほくととなえ)

n=22 (回収率 33.8 %)

1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	2	(9.1%)
・介護機関	20	(90.9%)
・その他	0	(0.0%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	3	(5.9%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	0	(0.0%)
・ケアマネジャー	39	(76.5%)
・相談員	2	(3.9%)
・介護職員	1	(2.0%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	0	(0.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	3	(5.9%)
・事務員	3	(5.9%)
・その他	0	(0.0%)

3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	21	(95.5%)
・どちらともいえない	1	(4.5%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)

【ご意見等】

【ケアマネジャーからの意見】

- ・それぞれの機関のジレンマと歯がゆい部分が、共感できた。
- ・今回もとても貴重な研修動画をありがとうございました。恥ずかしながら、道南メディカが居宅介護支援事業所も閲覧できることを知りませんでした。早速上司に相談しています。こちらからお送りした在宅情報が役に立っているのか、私も気になっていました。奥山さんに「役に立っています」と言っていただけで、自分に言われた気分になってしまいました。ありがとうございます。動画の作成・編集など、いつも本当にありがとうございます。
- ・コロナ禍での病院とケアマネの困りごとを認識し、お互い寄り添う気持ちを持つことができよかったと思

- ・コロナ禍で中々利用者御本人と面会が出来ない為、MSWや病棟看護師からの情報を頼りにアセスメント実施するという難しい事例もあったので、今回のお話を参考に道南メディカの活用も出来れば良いと思いました。
- ・入院時の医療機関への情報提供は、ただ、情報を送るのではなく、医療機関の看護スタッフがどのような情報を求めているかを理解することができました。自分の事業所の様式では細かい情報を書くまでの容量がない為、別紙にも記載してできるだけ細かくお伝えしようと思います。退院時の情報提供については、こちらからの情報も大切ではありますが、退院前カンファレンスや家屋調査を行ってくれるとそうでない医療機関があり、行ってくれるととても助かります。以前にあった事例で、家族だけに動画で歩行状態を見せて、私、ケアマネが呼ばれなかったことがあり、退院前カンファレンスや家屋調査ももちろんなしでした。動画の前日に連絡が来たのですが、もちろん予定が入っていて医療機関に行くことができず、この間まで自宅は無理と言われていたのが、どんでん返して自宅に帰ることになり、一回の動画だけで大丈夫との判断され、実際に自宅に戻ると、歩行状態が動画とは比べ物にならないほど悪く、福祉用具とヘルパーの支援内容を再調整した事例もありました。このことを教訓に、家屋調査や退院前カンファレンスの開催、動画の場合は調子のよい時も悪い時も見せてもらえないかお願いしようと思います。もちろん、コロナ対策も各医療機関の方針に従いつつ、できる限りでお願いしようと思います。もちろん、こちらからの提供する情報も重視した上です。退院調整はもちろん本人の為ではありますが、数年前、その利用者の帰りたいという思いだけをくみ取って、家族の都合を聞かず、本人とだけで退院日時を決めてしまい、家族をあきれさせた医療機関がありました。その利用者は病状の理解や判断能力に欠けている人でした。結局、退院させましたが、退院を知らされたサービス事業所は寝耳に水状態でしたが、何とか頭を下げてサービスの調整を行いました。結局、その日の晩に自宅で転倒して翌日、救搬され、施設入居となりました。確かに本人の意思は大事ですが、この後、対応するのはご家族であり、中には仕事を持っている場合もありますので、双方、納得の上で進めてほしいと思いました。急な退院の可能性を常に考える必要がありますが、それに対応できるよう、転院後、できるだけ早い段階でのICが必要であると感じました。中には急性期からの転院直後でもICと家屋調査をはじめからセッティングしてくれる良心的な医療機関が何件かありますので、函館、北斗、七飯のどの医療機関も左記のような共通の対応をしてくれると、どこに転院しても安心との気持ちが芽生えます。ただ、コロナ対策については各医療機関の方針もありますので、両方ができなくても、例えば家屋であれば、ディスカッションで出ていた、家族に撮影してもらった、自宅内の写真を持ってきてもらうのは以前にもあった事例で、その時は円滑に退院調整が行えました。最低限でも転院直後にICがあればとても大助かりで、外部の受け入れが無理であれば、Zoomやリモートを取り入れていただければ幸いです。長々と理想論や愚痴ばかりを並べて申し訳ありませんでした。退院調整が円滑にいかなかったのも、こちらからの情報提供がいかに不足していたかを改め実感させられました。この研修動画を機に早速、見直しにかかっております。利用者やその家族の為に、もっと連携を密にして対応できればと思っています。パネラーの皆様、本日は貴重なお話、ありがとうございました。
- ・ケアマネジャーとして利用者の入院時に情報を送付していますが医療機関がどんな情報が必要なのかが改めて確認することが出来ました。ありがとうございました。
- ・それぞれの立場からの意見を聞いて良かった。

【介護機関:相談員からの意見】

- ・医療、介護の連携についてコロナ禍での変化や対応について各々工夫や対応に苦慮するところがあったと思います。双方の意見が聞いて勉強になったことや少しでも出来る所があればマネをして情報共有し連携がスムーズに出来る様にしていければ良いなと思いました。ありがとうございました。

【福祉用具関連からの意見】

- ・福祉用具相談員は入退院時にはあまり関与しないため調整等について不明な点が多かったが、今回の動画を閲覧することで、各専門職の方々がかどのような部分に重点をおいて情報共有しているのかが分かったため大変参考になりました。

【薬剤師からの意見】

- ・コロナというパンデミックの異常事態下で、利用者の情報取得とコミュニケーションをとるということの難しさがよく理解できました。あのでこのででの工夫をマニュアルにして、対応できる体制をとることができればと思います。

4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【ケアマネジャーからの意見】

- ・独居、身寄り無しの場合、救急搬送や入院などで緊急連絡先が分からない時の対応。
- ・介護からのケアマネジャーなので、疾患のことや検査画像のみかた等がわからず、今に至ります。自分で勉強すればいいのにそれもなかなか行わず。医療系の研修があると有難いなと思います。又は難病の方が利用できる制度や施設など..
- ・訪問看護等利用する方で医療のニーズの高い方の医療的な知識について。
- ・今回の入退院時連携の続編があれば参考にしたいです。

- ・ 今回の研修の中であった、入院時に医療機関のスタッフが求める情報を、実際の病棟のスタッフの方から研修方式でもっと細かくお聞き出れば幸いです。ケアマネの必須業務であるアセスメントや定期のモニタリングの時に違う視点でも聞き取ることができ、入院になった際の情報提供に活かすことができれば、かなり連携が深まるというメリットが出ると思います。

【薬剤師からの意見】

- ・ 今回のようなケーススタディはとても大事だとは思いますが、その羅列に終わらずにマニュアルして、このような場合はこうするといった指針のようなものの作成につながれば、なお良いと思います。

5. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。

・